【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年９月20日
【会社名】	日本フェンオール株式会社
【英訳名】	Fenwal Controls of Japan, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　田原　仁志
【本店の所在の場所】	東京都千代田区飯田橋一丁目５番10号
【電話番号】	(03)3237-3561（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理統括部長　田原　康治
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区飯田橋一丁目５番10号
【電話番号】	(03)3237-3561（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理統括部長　田原　康治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社及び連結子会社の有する債権について取立不能又は取立遅延のおそれが生じたこと並びに当社及び連結子会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生する見込みとなりましたので、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第11号、第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

１．当社の有する債権についての取立不能のおそれについて

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第11号の規定に基づく報告）

（１）当該債務者等の名称、住所、代表者の氏名及び資本金の額

①名称　　ヒロセ電子システム株式会社
住所　　東京都渋谷区恵比寿南一丁目９番６号
代表者の氏名　代表取締役社長　秋山　清
資本金の額　　50百万円

②名称　　東莞廣瀬拓展電子有限公司
住所　　中国広東省東莞市石龍鎮新城区富民路
代表者の氏名　董事長　岡崎　昭義
資本金の額　　350万米ドル

（２）当該債務者等に生じた事実及びその事実が生じた年月日

当該債務者等に生じた事実　ヒロセ電子システム株式会社の事業活動の停止
事実が生じた年月日　　2019年９月２日

（３）当該債務者等に対する債権の種類及び金額

①ヒロセ電子システム株式会社に対する貸付金　約150百万円
②東莞廣瀬拓展電子有限公司に対する立替金　　約160百万円

なお、②については、ヒロセ電子システム株式会社が全額を保証しており、①については、譲渡担保を設定しておりますが、その権利行使等につきましては未定であります。

（４）当該事実が当社の事業に及ぼす影響

当該回収不能見込額につきましては、2019年12月期個別決算において、特別損失に計上する予定であります。

２．当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第12号及び第19号の規定に基づく報告）

（１）当該事象の発生年月日

2019年９月２日

（２）当該事象の内容

ヒロセ電子システム株式会社の事業活動停止に伴い、当社及び連結子会社における債権について回収不能のおそれが生じたため、2019年12月期において回収不能見込額を特別損失に計上する予定であります。

（３）当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により2019年12月期において、以下のとおり回収不能見込額を特別損失に計上する予定であります。

個別決算　回収不能見込額　約310百万円
連結決算　回収不能見込額　約465百万円

なお、連結決算における回収不能見込額のうち128百万円は2019年12月期第２四半期連結累計期間において貸倒引当金繰入額として計上しております。

以　上